

第一回 適性検査型入試 検査Ⅰ 解答・解説

〔問題1〕

解答

欲望と世界の相関関係

解説

本文の要旨である「欲望相関性」についての問い。直前の一続きの二文に「欲望がなければ世界の意味の秩序は形成されない。ただしまた、世界の秩序が形成されてはじめて、われわれは自分の欲望の何であるかを知る」とあり「欲望」と「世界」が相関すると理解することができる。

〔問題2〕

解答

熱中した何かを、可能な限り突きつめることで、人生の質を変えうるもの。

解説

文章2では著者である私とドラードとのふれあいと、そのふれあいの本質について助手を務めたディエゴとの会話が書かれている。解答は後半のディエゴとの会話を参考にする。ディエゴとの会話において、私は「何かに熱中したら、可能な限り突きつめたんだよ。」と書かれており、ドラードとふれあいたい、という欲望は「熱中する」ことで、「可能な限り突きつめたい」と思わせるものだと書かれている。また、トリユフについての過去の経験やディエゴの大学進学についての過去の経験から、欲望は「人生の質を変える」ものであるとわかる。

〔問題3〕

解答

(省略)

解説

文章1では「世界の秩序が形成されてはじめて、われわれは自分の欲望の何であるかを知る」と書かれていることから、「学校」という秩序があってはじめて、「私たちが学びたいと思える何かしらの欲望」が生まれると考えられる。また、**文章2**から「欲望」によって人生の質が違ってくると思われている。この考え方をふまえ、自分がどのような欲望のためにどのような行動をするかまとめていく。